



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月9日

上場会社名 大和重工株式会社
コード番号 5610
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 宏典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 企画管理本部長 (氏名) 大津 雅明
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

上場取引所 東
URL <https://www.daiwajuko.co.jp>
TEL (082) 814-2101

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	2,104	6.7	△ 56	—	20	—	△ 1	—
2023年12月期中間期	1,972	9.6	△ 17	—	46	—	33	—

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期中間期	△ 1.49			—
2023年12月期中間期	25.23			—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
2024年12月期中間期	6,702		3,091		46.1	
2023年12月期	6,435		2,821		43.8	

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 3,091百万円 2023年12月期 2,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—		0.00		0.00	
2024年12月期	—		0.00			
2024年12月期(予想)			—		—	

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

(注2) 当社は、定款において中間配当及び期末配当の配当基準日を定めておりますが、現時点では期末配当の当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	4,200	△ 4.2	△ 130	—	20	△ 80.7	1	△ 98.5	0.76	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	1,358,000株	2023年12月期	1,358,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	41,594株	2023年12月期	41,494株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期中間期	1,316,463株	2023年12月期中間期	1,316,506株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間貸借対照表に関する注記)	8
(中間損益計算書に関する注記)	8
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や企業の設備投資の継続、雇用・所得環境の改善により個人消費も上向くなど緩やかな回復基調で推移しました。一方で不安定な海外情勢の継続、円安の長期化に伴う物価の高騰、深刻な人手不足による労働供給の減少など景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は利益の確保のため、生産性の向上や経費の削減に取り組むとともに受注・売上の拡大に引き続き努めてまいりました。

この結果、当中間会計期間の売上高は21億4百万円(前年同期比6.7%増)、営業損失は56百万円(前年同期は営業損失17百万円)、経常利益は20百万円(前年同期比55.5%減)、中間純損失は1百万円(前年同期は中間純利益33百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

〈産業機械関連〉

日本工作機械工業会による工作機械主要統計では2024年1月から6月までの工作機械の受注累計額は7,400億円と、前年同期に比べ3.7%の減少となっております。

このような中、大型鋳物を得意とする当社の工作機械鋳物部品の同期間における受注高は中国経済が停滞する中で工作機械メーカーからの受注が減少し、前年同期比8.9%減の7億20百万円となりました。

ディーゼルエンジン部品の分野は、造船業界において省エネ船や脱炭素の取り組みにより新造発注が活発化したことから船用エンジンメーカーからの受注が増加しました。一方、コンテナ船においては荷動きの伸び悩みや新造船の供給増加により需給が軟化したため船用エンジンメーカーからの受注は減少しました。この結果、受注高は前年同期比17.5%減の2億2百万円となりました。

産業機械部品の分野は、設計から鋳造・加工・組立・据え付けまでの一貫生産体制が強みである定盤について、引き合いは増えているものの、受注高は前年同期と比べ42.9%減の44百万円となりました。

この結果、当セグメントの受注高は12億79百万円(前年同期比8.1%減)、売上高は12億35百万円(前年同期比11.7%増)となりました。

〈住宅機器関連〉

住宅機器関連の分野は、コロナ禍で一時的に高まった住宅リフォーム需要が減少したことや新設住宅着工戸数の減少により「鋳物ホーロー浴槽」の販売は減少しましたが、インバウンド需要の高まりからホテル・旅館などの宿泊施設の新設や改修案件は引き続き好調に推移し、「五右衛門風呂」及び「やまと風呂」の販売は底堅く推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は8億68百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の資産合計は、67億2百万円となり、前事業年度末に比べ2億66百万円増加いたしました。この主な要因は、投資その他の資産の内、投資有価証券が3億91百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、36億10百万円となり、前事業年度末に比べ3百万円減少いたしました。この主な要因は、固定負債の繰延税金負債が1億22百万円増加しましたが、流動負債の支払手形及び買掛金が73百万円、未払法人税等が10百万円、固定負債の役員退職慰労引当金が41百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、30億91百万円となり、前事業年度末に比べ2億70百万円増加いたしました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が2億72百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況について

当中間会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前事業年度末に比べ1億5百万円減少して、7億29百万円となりました。

当中間会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億49百万円 (前年同期は55百万円の収入) となりました。

これは主に仕入債務が73百万円、役員退職慰労引当金が41百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、44百万円 (前年同期は36百万円の収入) となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出が34百万円あった一方、投資不動産の賃貸による収入が54百万円、役員保険積立金の解約による収入が34百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、0百万円 (前年同期は資金の変動なし) でした。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期の業績予想につきましては、2024年8月9日に「第2四半期 (中間期) の業績予想数値と実績数値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,254,919	1,149,330
受取手形及び売掛金	1,095,526	1,088,487
電子記録債権	237,071	265,773
商品及び製品	607,974	610,915
仕掛品	96,792	116,968
原材料及び貯蔵品	297,995	274,752
前払費用	2,667	951
未収入金	36	4,060
その他	998	862
流動資産合計	3,593,983	3,512,101
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	416,563	411,355
機械及び装置(純額)	123,397	107,524
土地	341,282	341,282
その他(純額)	80,699	95,615
有形固定資産合計	961,942	955,777
無形固定資産	2,640	2,186
投資その他の資産		
投資有価証券	1,649,345	2,040,505
投資不動産(純額)	148,110	145,217
その他	84,781	50,695
貸倒引当金	△5,150	△4,460
投資その他の資産合計	1,877,087	2,231,958
固定資産合計	2,841,669	3,189,922
資産合計	6,435,653	6,702,023

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	792,414	719,115
短期借入金	1,600,000	1,600,000
未払法人税等	17,132	7,027
賞与引当金	18,000	14,000
その他	240,678	212,211
流動負債合計	2,668,225	2,552,354
固定負債		
繰延税金負債	229,257	351,732
退職給付引当金	566,031	586,909
役員退職慰労引当金	72,562	30,887
資産除去債務	18,970	18,865
リース債務	—	10,516
長期預り敷金	59,285	59,125
固定負債合計	946,107	1,058,037
負債合計	3,614,332	3,610,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,000	651,000
資本剰余金	154,373	154,373
利益剰余金	1,434,618	1,432,653
自己株式	△34,746	△34,841
株主資本合計	2,205,245	2,203,185
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	616,075	888,444
評価・換算差額等合計	616,075	888,444
純資産合計	2,821,320	3,091,630
負債純資産合計	6,435,653	6,702,023

(2) 中間損益計算書
(中間会計期間)

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,972,380	2,104,675
売上原価	1,615,151	1,753,129
売上総利益	357,228	351,546
販売費及び一般管理費	374,440	407,972
営業損失(△)	△17,211	△56,426
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	23,118	26,428
受取地代家賃	56,070	55,748
その他	3,257	13,004
営業外収益合計	82,449	95,185
営業外費用		
支払利息	6,561	6,316
不動産賃貸関係費	11,955	11,142
その他	704	816
営業外費用合計	19,221	18,274
経常利益	46,016	20,483
特別利益		
固定資産処分益	3,713	—
特別利益合計	3,713	—
特別損失		
固定資産処分損	5,920	0
社葬関連費用	—	16,399
特別損失合計	5,920	16,399
税引前中間純利益	43,809	4,084
法人税、住民税及び事業税	10,103	987
法人税等調整額	486	5,061
法人税等合計	10,590	6,048
中間純利益又は中間純損失(△)	33,218	△1,964

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	43,809	4,084
減価償却費	51,050	47,750
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△690
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△4,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,213	20,878
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,575	△41,675
受取利息及び受取配当金	△23,122	△26,432
支払利息	6,561	6,316
有形固定資産処分損益 (△は益)	2,207	—
投資不動産賃貸収入	△55,154	△54,800
投資不動産賃貸費用	11,955	11,142
社葬関連費用	—	16,399
売上債権の増減額 (△は増加)	226,343	△21,662
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△188,180	126
仕入債務の増減額 (△は減少)	53	△73,298
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△45,329	△25,326
その他	3,964	△2,302
小計	52,948	△143,490
利息及び配当金の受取額	23,119	26,437
利息の支払額	△6,634	△6,380
社葬関連費用の支払額	—	△16,399
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△14,190	△9,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,243	△149,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120,000	△120,000
定期預金の払戻による収入	120,000	120,000
投資有価証券の取得による支出	△1,311	△1,375
役員保険積立金の積立による支出	△1,680	△1,280
役員保険積立金の解約による収入	—	34,711
有形固定資産の取得による支出	△9,789	△34,301
有形固定資産の売却による収入	3,713	—
資産除去債務の履行による支出	—	△131
投資不動産の賃貸による収入	55,154	54,800
投資不動産の賃貸による支出	△9,105	△8,132
その他	—	492
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,982	44,784
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△95
リース債務の返済による支出	—	△784
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△879
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92,225	△105,589
現金及び現金同等物の期首残高	727,218	834,919
現金及び現金同等物の中間期末残高	819,444	729,330

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間貸借対照表に関する注記)

※ 中間会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理をしております。

なお、当中間会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の中間会計期間末日満期手形等が中間会計期間末残高に含まれております。

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
受取手形	21,451千円	49,023千円
電子記録債権	4,127	1,158
支払手形	8,689	7,417

(中間損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
給与諸手当	116,463千円	122,623千円
退職給付費用	6,377	6,669
賞与引当金繰入額	3,626	3,680
役員退職慰労引当金繰入額	2,575	2,158

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金	1,239,444千円	1,149,330千円
預け入れ期間が3ヶ月を超える定期預金	△420,000	△420,000
現金及び現金同等物	819,444	729,330

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	産業機械関連	住宅機器関連	合 計
売上高			
工作機械部品	924,481	—	924,481
ディーゼルエンジン部品	158,972	—	158,972
産業機械部品	22,128	—	22,128
鋳物ホーロー浴槽	—	500,689	500,689
やまと風呂	—	90,739	90,739
その他	537	274,831	275,368
顧客との契約から生じる収益	1,106,119	866,260	1,972,380
外部顧客への売上高	1,106,119	866,260	1,972,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,106,119	866,260	1,972,380
セグメント損失 (△) (注)	△8,501	△8,709	△17,211

(注) セグメント損失の合計額は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	産業機械関連	住宅機器関連	合 計
売上高			
工作機械部品	864,243	—	864,243
ディーゼルエンジン部品	251,000	—	251,000
産業機械部品	118,939	—	118,939
鋳物ホーロー浴槽	—	522,216	522,216
やまと風呂	—	68,180	68,180
その他	1,671	278,424	280,096
顧客との契約から生じる収益	1,235,855	868,820	2,104,675
外部顧客への売上高	1,235,855	868,820	2,104,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,235,855	868,820	2,104,675
セグメント損失 (△) (注)	△21,037	△35,389	△56,426

(注) セグメント損失の合計額は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。